

ぎふ農業会議だより

◆ 女性農業者の活躍推進等に関する意識・意向調査

農林水産省は11月15日、女性農業者の活躍推進等に関する意識・意向調査結果を公表。生産者・流通加工業者・消費者モニターに初めて調査し、2,992人から回答を得た。「農業経営において女性が重要な役割を果たしているか」について、「そう思う」が64.5%、「どちらかといえばそう思う」が24.4%、その理由は、「女性は農業の担い手としてなくてはならない存在」、「経営の多角化が進む」。「女性農業者の活躍を推進するために必要なこと」について、「職場環境の整備」69.9%、「ネットワークづくり」49.7%と回答。

◆ 家族経営協定締結農家数

農林水産省は12月1日、平成29年3月31日現在の家族経営協定締結農家数を公表。全国では57,155戸で前年に比べ758戸(1.3%)増加。増加の要因は、青年等就農計画及び農業経営改善計画の夫婦共同申請時の締結、農業者年金の加入時の締結等。取り決め内容は、農業経営の方針決定、労働時間・休日、農業面の役割分担、労働報酬等。なお、岐阜県では558戸で前年に比べ19戸(3.5%)増加。

◆ 平成29年産水稻の収穫量

農林水産省は12月5日、29年産水稻の収穫量を公表。主食用作付面積は137万haで前年産に比べ1万1,000ha減少、単収は534kg/10aで前年産に比べ10kg減少となり、収穫量は730万6,000tで前年産に比べ19万t減少。なお、岐阜県は、主食用作付面積は21,500ha、単収は488kg/10a、収穫量は104,900t。

◆ 「農林水産業・地域の活力創造プラン」改訂

政府は12月8日、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂。今回の改訂では、中央卸売市場の開設や取引の規制を緩める卸売市場改革、相続未登記農地の担い手集積に向けた農地制度の見直し等を追加。

◆ 2017年農業技術10大ニュースの選定

農林水産省は12月10日、この1年間に新聞記事となった民間、大学、公立試験研究機関、国立研究開発法人の農林水産研究成果のうち、内容に優れ、社会的関心が高い成果10課題を農業技術クラブ加盟会員による投票を得て選定したと発表。1位には、農研機構が開発したスマホ等で水田の水管理ができるシステムが選ばれた。

◆ 平成30年度予算案・平成29年度補正予算案を決定

政府は12月22日、30年度予算案を閣議決定。一般会計総額は97兆7,128億円で前年度に比べ2,581億円増え、6年続けて過去最大を更新。社会保障費が高齢化に伴い、過去最大の32兆9,732億円と全体の3割超を占める。農林水産関係は2兆3,021億円で前年度に比べ50億円減。米政策や農業農村整備事業に重点配分。また、29年度補正予算案も2兆7,073億円で同日閣議決定。農林水産関係は日欧経済連携協定対策を中心に4,680億円を計上。

平成30年1月17日

一般社団法人岐阜県農業会議

ぎふ農業会議だより

平成30年1月17日
(一社)岐阜県農業会議

内容の詳細を含め、お問い合わせ等がある場合は、下記事務局へご連絡ください。
岐阜市藪田南5-14-12、岐阜県ソクタク庁舎、058-268-2527（担当；富田、丹羽）

農業委員会長よりひとこと

大野町の特色と農業委員会の役割

大野町農業委員会 加納 準一 会長

大野町の総面積は3,420ha、そのうち約1/3の1,180haが農地として広がる町です。

当町は豊かな水資源と肥沃な土地を活かしながら、圃場整備等土地改良事業の導入による良好な営農条件により、水稻を中心とした土地利用型農業が発展してきました。また、生産調整により水稻から他作物への転換も進み、柿とバラ苗が全国有数の産地となっています。

しかし、農業者の高齢化等による遊休農地の発生が懸念され、農業委員会としてその発生防止、解消に努めていく一方、担い手への農地利用の集積・集約化も農地中間管理事業を活用しながら取り組んでいく必要があります。

また、今年7月に道の駅「パレットピアおおの」開駅、平成31年度には東海環状自動車道の（仮称）大野・神戸インターチェンジ開通などを控えており、それらが観光や流通における大きな転換期になると予想されます。農業と開発のバランスを見極め、総合的に町の発展につなげるために、農業委員会の役割がさらに重要なものとなると考えております。



白川村農業委員会の活動について

白川村農業委員会 大田 忠広 会長

白川村は総面積356.64km²、そのうち96%を山林が占める農山村です。平成の市町村大合併時、単独村の維持を選択し、1月1日現在の人口は1,652人となっています。

昨年7月の改選では、農業委員12名が村長から任命され新体制でスタートしました。小さな村ですから農地利用最適化推進委員は設置されませんでした。これまで以上に農地利用の最適化業務を推進すべく、県農業会議主催の研修会への参加や、飛騨農林事務所と連携し耕作放棄地の草刈作業を行うなどの活動を行ってきました。



今後も小さな村であることの利点を生かし「顔の見える農業委員」として、ふるさとの農地を守り育てて行きたいと思いをします。

右写真：耕作放棄地の草刈り作業の参加者



農業会議 12月常設審議委員会の開催

- 農地転用諮問 101件、約 115 千㎡について意見答申 -

農業会議は12月14日、県福祉・農業会館において常設審議委員会を開催した。

この会議では、指定市、権限移譲市町及び権限移譲市町以外の大規模転用案件の市町村から諮問された「農地法第4条第4項及び第5項、第5条第3項の規定」による意見答申を行った。

12月の許可権者別の諮問件数並びに面積は、以下のとおり。

指定市及び権限移譲市町の諮問案件(件、面積)

区分	4 条		5 条		合 計	
岐阜市農業委員会	0件	0㎡	2件	389㎡	2件	389㎡
大垣市農業委員会	0件	0㎡	4件	1,978㎡	4件	1,978㎡
羽島市農業委員会	2件	1,245㎡	2件	2,553㎡	4件	3,798㎡
各務原市農業委員会	1件	1,085㎡	4件	2,031.3㎡	5件	3,116.3㎡
揖斐川町農業委員会	0件	0㎡	4件	2,422㎡	4件	2,422㎡
大野町農業委員会	0件	0㎡	0件	0㎡	0件	0㎡
池田町農業委員会	0件	0㎡	4件	20,584.77㎡	4件	20,584.77㎡
郡上市農業委員会	3件	388㎡	18件	6,210.61㎡	21件	6,598.61㎡
川辺町農業委員会	0件	0㎡	7件	6,187㎡	7件	6,187㎡
八百津町農業委員会	2件	370㎡	10件	7,718.51㎡	12件	8,088.51㎡
白川町農業委員会	0件	0㎡	0件	0㎡	0件	0㎡
高山市農業委員会	8件	5,173.41㎡	15件	18,302.2㎡	23件	23,475.61㎡
飛騨市農業委員会	1件	114㎡	5件	5,267㎡	6件	5,381㎡
計	17件	8,375.41㎡	75件	73,643.39㎡	92件	82,018.8㎡

指定市及び権限移譲市町以外の大規模転用案件(件、面積)

区分	4 条		5 条		合 計	
本巣市農業委員会	0件	0㎡	1件	5,056㎡	1件	5,056㎡
坂祝町農業委員会	0件	0㎡	1件	4,541㎡	1件	4,541㎡
瑞浪市農業委員会	0件	0㎡	4件	4,569.39㎡	4件	4,569.39㎡
中津川市農業委員会	0件	0㎡	2件	13,451㎡	2件	13,451㎡

下呂市農業委員会	0件	0m ²	1件	4,927m ²	1件	4,927m ²
計	0件	0m ²	9件	32,544.39m ²	9件	32,544.39m ²

市町村農業委員会等から説明を受けた後の審議の結果、許可相当として農業委員長等に答申した。

なお、12月諮問分のうち3,000m²超の大規模転用案件の恒久転用は6件(32,746m²)、一時転用は7件(30,428.16m²)。

【農政懇談事項】

(1)米をめぐる情勢について(県農産園芸課 安藤水田経営係長)

北信越・東海・近畿合同稲作経営者研究会に出席

福井県稲作経営者会議他主催で12月7・8日(木・金)、福井市・ザ・グランユアーズフクイで開催された標記研究会に全体で229名が参加し、本県稲作経営者会議から後藤会長他27名、本会議から松浦係長が出席した。

初日、冒頭、福井県稲作経営者会議 加藤会長から「主食用米の需要が減少する中、食育などで農業、食の大切さを伝えることが必要」との挨拶があった。また、来賓として、全国稲作経営者会議 平石会長から「新技術・新販路を勉強し、切り開いていく。30年の政策についても国に意見していく」との挨拶があった。

続いて(株)小松製作所 野路取締役会長から「コマツのICTブルドーザによる農業への取り組みについて」と題する講演、福井あすわ歴史道場 松下会長から「坂本龍馬と福井藩が目指していた新国家」と題する講演を受けた。

翌日は2コースに分かれて現地視察を行い、福井市太田町で、個人で低コスト省力化を追求し水稻25haなどを生産する徳永農園を視察した。

都道府県農業会議経理実務研修会に出席

全国農業会議所主催で12月12・13日(火・水)、東京文具共和会館で開催された標記研修会に全体で94名参加し、本会議から堀口次長、伊藤主事、澤田職員が出席した。

冒頭、伊藤事務局長から挨拶があり、続いて項目として、(1)総務関係について、(2)計算書の作成について、(3)決算処理について、(4)情報事業関係について、(5)日常的な経理処理について、(6)税務について、(7)消費税の申告・納税について研修を行った。

その後、希望者を対象に、岐阜県の経理処理方法について、伊藤主事と澤田職員が事例発表を行った。

東海・近畿ブロック女性農業・推進委員研修会に出席並びに女性農業委員・推進委員視察研修会の開催

東海・近畿各府県農業会議他主催で12月12日(火)、滋賀県立男女共同参画セ

ンターで開催された標記研修会に全体で156名が参加し、本県から農業委員・推進委員16名、本会議から松浦係長が出席した。

冒頭、湖国女性農業委員・推進委員協議会 池田会長から「全国で80%が新体制に移行、女性委員2,466名、旧体制より22%増えた。増えた中で女性が何をするかを考え活動したい」との挨拶があった。

項目として、全国農業会議所 三上調査役から「農地利用の最適化に向けた両委員の役割について」の情勢報告、農業者年金基金 中園理事長から「農業者年金加入推進について」の情報報告、三重県鈴鹿市で有機・無農薬野菜3haを女性中心に作るNatural Vegetable 近藤啓子代表の講演、滋賀県内の3名の女性農業者の事例報告が行われた。

翌13日は岐阜県独自で視察研修会を開催し、奈良県高取町を訪問。同町の明見美代子農業委員との意見交換のほか、明見農業委員も参画する(有)ポニーの里ファームの大和トウキなど薬草を使った地域振興や食育について研修を受けた。



ブロック研修会



(有)ポニーの里ファームの視察

JA農業教育支援事業プロジェクト発表大会に出席

岐阜県農業協同組合中央会主催で12月15日(金)、不二羽島文化センターで開催された標記大会に全体で330名参加し、本会議から富田事務局長が出席した。

冒頭、岐阜県農業協同組合中央会 櫻井会長から「農業には様々な課題がある。高校生に研究成果を発表してもらい、アイデアを農業現場に取り入れたい」との挨拶があった。続いて、県農政部 小原次長、県教育委員会 松川教育長から来賓挨拶、岐阜農林高校 渡辺校長から学校長挨拶があった。

次に、プロジェクト発表として、県下の農業関係高校7校から14プロジェクトについて、発表があった。

最後に、審査委員長 前澤岐阜大学教授から審査講評、結果発表があり、グランプリには、岐阜農林高校『伝統野菜「まくわうり」の新しい活用方法の研究』、準グランプリには、恵那農業高校「恵那の里山に花咲かみつばち～みつばちとともに里山の調査・活用・保全～」、飛騨高山高校「飛騨牛のさらなる躍進を目指して」が選ばれ、櫻井会長から3校の代表に賞状が授与された。

収入保険制度等に関する都道府県別説明会に出席

東海農政局主催で12月20日(水)、羽島市民会館で開催された標記説明会に全体で約220名参加し、本会議から西川参事が出席した。

冒頭、農林水産省保険担当 小林管理監から、「本年6月に、「農業災害補償法の一部を改正する法律」が可決・成立し、新たに収入保険制度が導入された。来年秋頃から加入手続きが開始されることとなるため、対象農業者への周知及び勧誘を徹底していきたいので、関係者の皆様のご理解とご支援をお願いしたい」との挨拶があった。

会議内容は、収入保険制度等の内容や保険料等のシミュレーション等について、それぞれ担当者から説明があり、その後質疑応答が行われた。

岐阜県茶業振興大会に出席

岐阜県園芸特産振興会茶部会、全国農業協同組合連合会岐阜県本部、白川茶農業協同組合連合会主催で12月22日(金)、池田町中央公民館で開催された標記大会に全体で150名参加し、本会議から富田事務局長が出席した。

冒頭、岐阜県園芸特産振興会 足立会長から主催者挨拶があった。

続いて、平成29年度岐阜県茶総合品評会表彰式があり、農事組合法人美濃いび茶宮地生産組合へ富田事務局長から岐阜県農業会議会長賞を代理授与した。

次に、岐阜県農政部 大西次長から激励のことば、東海農政局 斉藤地方参事官、岐阜県議会 村下議長から来賓祝辞があった。

最後に、カワサキ機工(株)茶業コンサルタント 岸本浩志氏から「茶業界を取り巻く環境と情勢」と題して、講演があった。

岐阜県稲作経営者会議青年部第3回自主的勉強会~いなけい青年部の米自慢大会~に出席

岐阜県稲作経営者会議青年部主催で12月22日(金)、JAアグリパーク鈴ヶ坂で開催された標記勉強会に全体で36名参加し、本会議から堀口次長、松浦係長が出席した。

冒頭、岐阜県稲作経営者会議青年部 安藤会長から「仲間とともに成長を目指す。米農家として、主食用米の食味や品質をみんなで追及したい」との挨拶があった。

項目として、県農産園芸課と産地交付金研活用枠の協議、東海農政局岐阜県支局と30年度予算の意見交換を行った。

続いて、会員の米12点の炊飯、食べ比べを実施。参加者全員が審査員となり、見た目、触感、香りなどから、郡上市・有限会社エヌシーアイのコシヒカリが1位に輝いた。

その後、今後の技術向上のため、精米機メーカーのサタケと農林中金総合研究所から、良食味を引き出す精米技術について、研修を受けた。

平成28～29年度農業者年金加入状況

月	加入人数（市町村名）	
	平成28年度	平成29年度
4月	1人（高山市）	3人（美濃加茂市1人、高山市2人）
5月	1人（本巣市）	4人（羽島市1人、関市1人、美濃加茂市1人、高山市1人）
6月	5人（恵那市1人、高山市4人）	2人（大垣市1人、高山市1人）
7月	0人	1人（高山市）
8月	0人	1人（美濃加茂市）
9月	1人（岐阜市）	0人
10月	3人（岐阜市1人、各務原市1人、恵那市1人）	2人（恵那市）
11月	3人（岐阜市1人、大野町1人、飛騨市1人）	1人（瑞穂市）
12月	0人	1人（高山市）
1月	3人（郡上市1名、中津川市1名、下呂市1名）	
2月	3人（高山市）	
3月	7人（岐阜市1名、笠松町1名、大垣市1名、海津市4名）	
累計	27人 （H28年度目標：52人）	14人 （H29年度目標：52人）

今後の主な会議・研修会等の予定

月/日	会議・研修会名等
1/26	農業委員・農地利用最適化推進委員大会（羽島市・不二羽島文化センター）
1/26	農村女性起業化支援研修会（多治見市）
2/1	都道府県農業会議事務局長会議（東京都）
2/8	都道府県農業会議会長会議（東京都）
2/9	農地調整会議（県シンクタンク庁舎）
2/13	「農の雇用事業」平成29年度第4回指導者養成研修会及び研修生事業説明・研修会雇用新規就農者 育成強化セミナー（みの観光ホテル）
2/14	理事会・常設審議委員会（県福祉・農業会館）
2/15	アグリマネジメントカフェ2018（岐阜市・ホテルパーク）
2/28	農村女性起業化支援スキルアップ研修会（みの観光ホテル）
3/8	第14回女性の農業委員会活動推進シンポジウム（東京・砂防会館）
3/8	農村女性起業化支援研修会（郡上市）

3 / 9	農地調整会議（県シンクタンク庁舎）
3 / 13	(一社)岐阜県農業会議第2回臨時総会・常設審議委員会（岐阜市・ホテルパーク）

各種講座・会議などの詳細・問い合わせ等は、農業会議事務局へお問い合わせください。

◆ 新刊・おすすめ全国農業図書

- ・平成30年度 経営所得安定対策と米政策(リ-7) (29-34 A4判 105円)
- ・戸別訪問に取り組もう！農業者年金加入推進セット (29-30 A4判 730円)
- ・2018年農業委員会手帳 (29-35A(農業委員用)・29-35B(推進委員用) ポケット判 617円)
- ・農業者年金加入推進事例集vol.10 (29-31 A5判 250円)
- ・2018年 農業委員会活動記録セット (29-27 A4判 515円)
- ・改訂4版 農業の労務管理と労働・社会保険 百問百答 (29-25 A5判 1,500円)
- ・中山間地の稲作をだれが担うのか？ (29-26 A5判 500円)
- ・農業委員会手帳 (29-35AB ポケット判 617円)
- ・平成29年度版勘定科目別農業簿記マニュアル (29-24 A4判 2,100円)
- ・農業法人会計・税務ハンドブック (29-23 A4判 3,800円)
- ・平成29年度版農家相談の手引 (29-19 A4判 820円)
- ・農家の経営承継と相続税・贈与税納税猶予制度のあらまし (29-22 A4判 420円)